

- [目次]
- 1 会長あいさつ
災害看護への取り組み－新年のご挨拶にかえて－ … 高島 幹子
 - 2 第43回 秋田県看護学会
 - 3 シリーズ 施設自慢



(かまくら)

- 4 シリーズ 輝いてる人
- 5 地区支部活動報告
- 7 穂積市長と対談しました。
・平成28年度 表彰おめでとうございます
- 8 理事会だより・安全情報
- 9 役員の立候補並びに推薦について
- 10 事務局からのお知らせ

平成28年度会員数 7,034名 (最終)

保健師 254名 助産師 312名 看護師 6,277名 准看護師 191名



災害看護への取り組み — 新年のご挨拶にかえて —

公益社団法人 秋田県看護協会 会長

高島 幹子

新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、お健やかに新年をお迎えることと存じます。会長として2期3年目の新年を迎えております。

昨年の4月14日と16日に「平成28年熊本地震」があり、最大震度7の地震が観測されました。日本看護協会と都道府県看護協会は連携して、被災地である熊本県に災害支援ナースを派遣しました。4月20日～5月15日の期間で派遣した災害支援ナースは延べ1,008人で、24時間、2交代で支援を続けました。熊本県看護協会会長からは、看護協会の災害支援は、24時間継続体制なので、夜間になって不安になったり、不眠を訴えられたりする被災者の方たちに心から感謝されたとの報告とお礼がありました。

毎年、秋田県医療関係団体連絡協議会が開かれています。医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会の四師会が、一つのテーマを決めて、そのテーマに対する、それぞれの団体の取り組みを報告し、情報を共有すると共に、連携強化を図ることを目的としています。

平成28年度は、11月21日に開催され「災害医療に関する各団体の取り組み」に関しての報告をしました。当協会からの報告は、日本看護協会の災害支援ナースの活動についてで、秋田県看護協会に登録されている災害支援ナースは82名であり、災害時の看護支援活動は、自己完結型を基本とし、あらゆる環境下にあっても臨機応変に看護活動ができるように訓練されていることなどを説明しました。更に、熊本地震で得た教訓として、多くの医療チームが被災地に集中しますが、受け入れ側の対応マニュアルがないため、災害支援が上手く進まないことが問題となったことを情報共有しました。各県で、医療チーム派遣については検討されていても、受け入れ体制については盲点であり、秋田県でも早急に検討することを確認しました。くしくも、その翌朝、11月22日午前5時59分に震度5弱の福島県沖地震がありました。災害はいつどこで起こるか分かりません。転ばぬ先の杖、備えあれば憂いなし。これからもたゆまず災害対応に心がけたいと思っております。

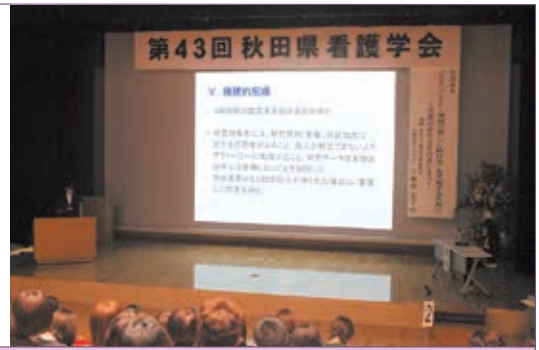
今年は酉年です。この酉年の鳥は、ニワトリをさすそうです。新年も一番に鳴く鳥のため縁起が良いとされているのです。新たな医療環境へ一番に名乗りを上げてパラダイムシフトできるように、今後も協会員の皆さまと共に前進したいと切に希望しております。

平成28年度
第43回

秋田県看護学会

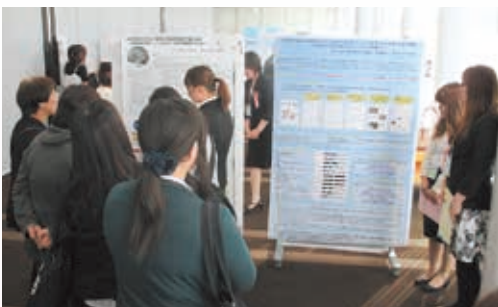
メインテーマ 支え つなぐ 看護の未来

日 時 平成28年10月18日(火) 10:00～15:40
場 所 にぎわい交流館AU 3階 多目的ホール
参加者 226名



在宅ケア移行支援研究所
宇都宮宏子オフィス

宇都宮 宏子 氏



第43回秋田県看護学会 メインテーマ「支え つなぐ 看護の未来」が平成28年10月18日に開催されました。今回初めて開催会場を「にぎわい交流館AU」に移し226名の方々が参加されました。

冒頭、秋田県看護協会会長 高島幹子の挨拶に始まり、次に特別講演「aging in place（地域で暮らし続ける）を実現するために～看護のあり方を再考しよう～」をテーマに、在宅ケア移行支援研究所宇都宮宏子オフィス 宇都宮宏子氏からご講演をいただきました。次いで口演8題、示説11題の研究発表があり、活発な意見交換がありました。自施設への今後の刺激になる、有意義なものであったと感じました。

今後の皆様の活躍に期待しています。

（記：広報委員会）



施設自慢



■ 当院の紹介

秋田県立脳血管研究センター 看護部長 成田 尚子

秋田県立脳血管研究センターは 1968 年に設立され、半世紀余りの間「脳卒中撲滅」を目標に、秋田県民の健康を支えてきました。2015 年 4 月、新たに循環器部門を拡充し、脳と循環器疾患の第三次医療機関としての役割を担う事になりました。『脳・循環器疾患の診療と研究を通じて、県民の健康を守り、医学・医療の発展に貢献する』を理念とし、脳神経および循環器疾患の治療を通じて、秋田県民への医療の貢献を目指しています。

病床数は126床から184床に増床となり、医師をはじめコメディカル、事務職員等多くのスタッフを迎えて新体制でスタートしました。脳神経疾患や回復期リハビリ病棟を有する東棟と新たにHCU、循環器疾患中心の西棟として病床が整備され、脳卒中など脳神経疾患の治療に加えて、心筋梗塞や不整脈・心不全の治療などそれぞれの専門分野の医師やスタッフが協力し、より専門的な治療を提供しています。看護部門においても、新たな看護配置で脳・循環器疾患におけるそれぞれの専門性を発揮するとともに、相互補完し協力体制



を作り、目標達成に向けた取り組みをしているところです。

当センターは、超急性期から維持期そして回復期のリハビリテーションまで切れ目のない医療・看護の提供ができることが大きな強みです。急性期から早期リハビリの介入、在宅を視野に入れた機能訓練を通して、自分らしさを取り戻し、「地域」へ繋ぐための支援を多職種協働で行っています。

2019年には新たに集中治療室や手術室等の増築が予定されています。高齢化率は全国1位、心疾患・脳血管疾患は死因別割合の常に上位を占めている秋田県においては、脳卒中と心疾患を同時に発症することやさらには認知症を併せ持つ患者さんも増えてくる可能性があります。そのような中で、新棟開設に向けて、脳・循環器疾患における包括的医療体制を構築し、脳・循環器疾患双方に

精通した専門性の高い看護実践のできる人材の育成と、多職種との連携を図りながら、患者さん・ご家族に信頼される病院を目指して、職員一体となり取組んでいくことが今後の課題となります。



輝いてる人

No.3



特定行為5行為の
研修を修了された

市立大森病院
遠藤 愛子

私 は昨年の10月から今年の9月まで自治医科大学で看護師特定行為研修を受講し、特定行為5行為の研修を修了しました。看護師特定行為とはまだ聞きなれない言葉であり、詳細をよくわからないという方が多いと思います。団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて在宅医療を推進していくため、医師の判断を待たず手順書により一定の診療の補助が行える看護師を育成

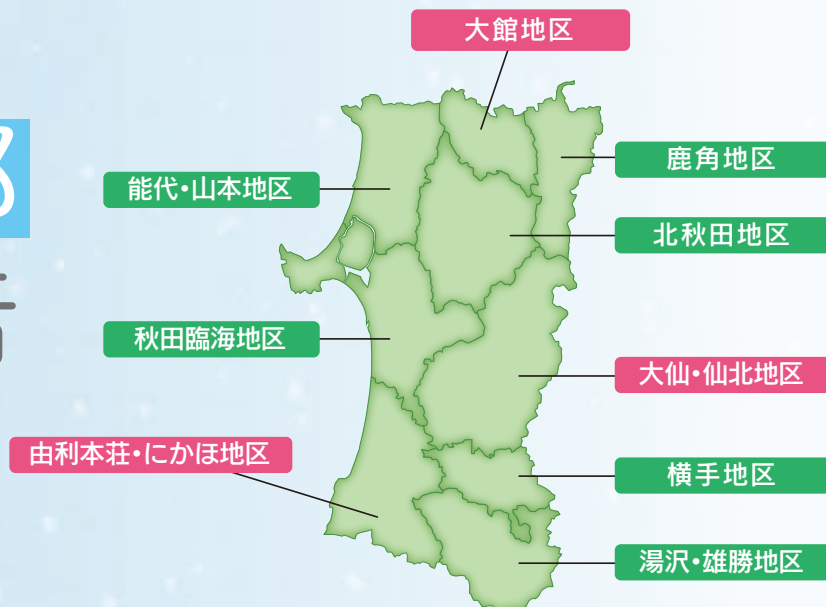
する目的のもと設立された制度です。特定行為には38行為ありますが、当院の特性を考え、気管カニューレ交換、ろう孔管理（胃ろうボタン交換、膀胱瘻カテーテル交換）、中心静脈カテーテル抜去、創部ドレーン抜去、動脈穿刺の5項目を選択しました。

高齢化、医療の高度化の急速な進行による業務の多様化と、加えて医師不足が深刻な問題となっており、医師が来るまでの間、患者の処置ができず安全・安楽を保つことができない場面が多くありました。患者にとって一番身近な存在が看護師であり、看護師がタイムリーに患者の状態を捉えて必要な介入を行うことが患者への質の高いケアの提供につながるのではないかと考え、研修を受講しようと思いました。

これから院内でのシステム作りを進め、チーム医療のさらなる推進に貢献できるように、医師との協働意識を高め、医師と患者、多職種と患者をつなぐ「かけはし」になりたいと考えています。



地区支部 活動報告



由利本荘・にかほ地区支部

由利本荘・にかほ地区支部長 畠山 光世

「地区支部交流会」

6月11日、鶴舞会館にて「太極拳」を開催しました。心身をリラックスさせ、呼吸と組み合わせゆっくり、柔らかく行う、という普段体験しないような動きを行い、心も体もリフレッシュできました。

「ふれあい看護体験」

7月26日、管内の高校生を対象に5施設において「ふれあい看護体験」を開催しました。看護師を目指す学生や、看護師の仕事に興味をもっている学生が多く、今後の進路決定の参考になったという声も多くありました。



「研修会」

9月16日、カダーレにて「認知症看護」～病気に応じたコミュニケーションとは～というテーマで認知症認定看護師の方に研修会をしていただきました。参加者は73名で幅広い職種が参加することができました。実際の事例を交えた講義であったこともあり、とても参考になったというアンケート回答が多く、好評でした。



「看護研究発表会」

10月28日、ホテルアイリスにて「看護研究発表会」を開催しました。今年は5題の演題が発表されました。各病院の素晴らしい発表に、よい刺激を受けることができました。講評からの学びも多くありました。



大館 地区支部

大館地区支部長 田中 智恵子

「交流会」

5月28日会員の親睦を深める目的で、巻き寿しづくり体験をしました。

「ひまわり」をテーマに具材を色づけして、重ねながら作りました。

完成した巻き寿しをカットした時はあちこちで歓声が上がり、楽しい時間を過ごす事が出来ました。

最後は、ひまわり？菊の花？のような巻き寿しとダシの効いたラーメンを頂き、心もお腹も



満足した一日となりました。

「まちの保健室」

9月4日北部老人福祉エリアでの大館ボランティアフェスティバルにおいて、10名の協力会員とともに開催いたしました。

今年はちびっ子ナース写真撮影コーナーが、人気で行列が出来る場面もありました。

また、ステキな笑顔の102歳の方が血圧測定に来られ「ありがとう」の言葉に、私たちの方が元気をもらいました。今後も地域住民との交流を図り、健康推進のため活動をしていきたいと思ひます。



大仙・仙北 地区支部

大仙・仙北地区支部長 畑山 ひふみ

「まちの保健室」

9月15日にイオンモール大曲「花火の広場」で町の保健室を開催しました。今年のメインは「骨密度測定」でした。「初めて測定します」「骨密度測定ができると聞いてきました」と大好評で待ち時間には「転倒予防教室」のDVDを見ていただくなど工夫をして対応しました。さらに今回は看護協会の活動紹介として災害支援の写真の掲示を行いました。興味深そうに写真を見る来場者の方もおられ「こんなこともやっているのか。岩手にも行ったのか」などの声が聞かれました。平日にもかかわらず110人と多くの方にご来場いただきました。



「看護研究発表会」

10月20日大曲交流センターにおいて看護研究発表会を開催しました。各医療機関から6演題の口演がありました。皮膚ケア、退院支援、高齢者の術後せん妄対策、看取り、災害対策と今私たちが抱えている内容での口演であり今後の看護実践へ活用できる内容でした。

発表後には「大仙保健所における保健師活動」について福祉環境部の斎藤智子様より、「暴言・暴力・クレーム対応」と題して中通総合病院の医療安全管理者の宮野はるみ様より講演をいただきとても好評でした。





穂積市長と対談しました。

「健康長寿社会づくりと 看護職に期待される役割」

エイジ
フレンドリー
シティ
(高齢者に優しい都市)
を目指して

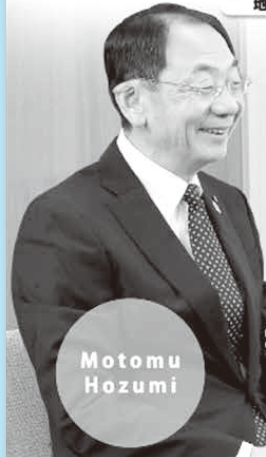
秋田市成長戦略

いきいきと暮らせる健康長寿社会づくり

市民一人ひとりが心豊かにいきいきと幸せに暮らすためには、健康寿命を延ばしていくことが必要であり、元気な秋田市づくりの根本になるものです。

重点
プログラム
(実現のための方策)

- 1 生涯を通じた健康づくりと生きがいづくりの推進
- 2 高齢者の多様な能力の活用
- 3 バリアフリー化の推進
- 4 高齢者の移動手段の確保
- 5 多様な生活支援サービスが利用できる地域づくりの推進



Motomu
Hozumi

穂積市長：まずは高島さんが会長を務めている県看護協会の取り組みを教えてくださいませんか。

高島さん：高齢化が進む秋田では、地域ごとに医療や介護・福祉が連携した包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築が不可欠です。多職種連携が必要なのはシステムをうまく運用するために看護職の役割は大きいのですが、看護職不足が懸念されています。取り組みの一つとして、看護職の人材確保を目的とした県ナースセンターを昨年の秋に秋田市の総合保健センター内の一室からアトリオン内に移転し、再就業者を前年比で約2倍に増やすことができ



した、さらなる人材確保のため、昨年10月からは専任した看護士や免許を持っていても看護職に就いていない人の届け出制度もスタートしています。

穂積市長：2010年に約32万4千人だった本市の人口は、40年には約23万5千人に減少し、老年人口の割合は4割超になると推計されています。こうした状況を踏まえ、高齢者が支えられるだけでなく、社会の支え手としても活躍できるような「エイジフレンドリーシティ（高齢者にやさしい都市）」の実現に向けた取り組みを進める必要があると感じます。高島さんはどのような視点が大切だと思いますか。

高島さん：高齢者がそれぞれの地域で自分らしく元気に生活し、活躍していくためには、先ほども触れた地域包括ケアシステムが効果的に機能することが重要です。4年前のデータですが、働く女性の17人に1人が看護職だそうです。市内の女

性20～30人のうち1、2人は看護職がいる計算になりますよね。そのため協会では、在宅ナースの働きに力を入れています。看護職を退職した人でも経験値や知識は十分にあるので「病院にいくほどではないけれど、ちょっと相談したい」という人たちのケアする役割は果たせるものと思います。

穂積市長：身近に気軽に健康相談ができる人がいるというのは心強いですね。私たちが心豊かに生き生きと幸せに暮らすためには、健康寿命を延ばすことも必要です。いかにして健康寿命を延ばしていくか専門的な立場から考えをお願いします。

高島さん：スポーツであればグラウンドゴルフや水泳などさまざまな取り組みがありますが、参加されている人は非常に元々、看護の立場からいえばもう少し健康レベルの低い人、例えば病院からの退院直後だったり、健康に不安を抱えている人などは専門的な窓口で相談し、そのアドバイスをもとに医療機関などで適切な処置を受け、元気になる生活の質を上げていきたいです。その最初の窓口として、秋田市内には地域包括支援セ

（高島幹子（たかしま みきこ）プロフィール）
1964年秋田市生まれ。秋田大学教育学部附属看護学校（現秋田看護専門学校）卒業後、同校に勤務。2001年、看護学校時代の安全管理責任者（ゼミナールシステムマネージャー）に就任し、秋田県安全・防災委員会委員の立場として活動。07年に県看護協会（県看護会）の立ち上げに関わり、07年に専任職員に。12年からは秋田県看護協会会長に就任。現在二重日。

ンターが18か所設置されているのですが、実は市民に周知されていないように感じます。在宅医療を支える訪問看護ステーションも22カ所ありますが、訪問看護の理解も十分とは言えません。

穂積市長：秋田市でも地域包括支援センターの周知活動や、訪問看護などの看護士たちとの連携を力を入れていきたいですね。

高島さん：先日、秋田市で開催されたシニア世代向けの大きなイベントに足を運んだのですが、たくさんのお客さんでにぎわっていました。皆さんはとてもおしゃべりで、秋田のシニアパワーに圧倒されました。

穂積市長：今後は、そんな皆さんがもっと活躍できる場を創出しなければなりませんね。支えられる側から支える側になり、それが目指する社会を実現させていきたいです。



Mikiko
Takashima

秋田市長 穂積志 > 紙上対談 < 高島幹子

秋田市では、人口減少問題を正面から受けとめ「秋田市を元気にすること」「元気な秋田市を次の世代に引き継ぐこと」を目指し、5つの成長戦略を掲げています。本シリーズはさまざまな分野の成長戦略を実現するために、穂積市長がゲストと紙上対談する企画です。5回目のテーマは「いきいきと暮らせる健康長寿社会づくり」です。ゲスト対談者は秋田県看護協会会長の高島幹子さんです。

（企画・制作）秋田新聞社 営業課

秋田市

H28.12.22 魁新報紙面より

Meritorious Deeds

平成28年度 環境・保健事業

Commendation Ceremony

功労者表彰おめでとうございます。

秋田県庁正庁にて、平成28年度環境・保健事業功労者表彰式が行われました。



平成28年度 環境・保健事業 功労者表彰 受賞者（順不同）

鎌田 百合子	社会医療法人明和会 中通訪問看護ステーション 所長	高野 ひとみ	かづの厚生病院 看護副部長
国安 みゆき	秋田厚生医療センター 看護師長	佐藤 祥子	平鹿総合病院 看護師長
大山 京子	医療法人惇慧会 外旭川病院 看護部長	阿部 美賀子	平鹿総合病院 看護師長
野村 優子	能代厚生医療センター 看護副部長	東 美奈子	独立行政法人地域医療機能推進機構 秋田病院 看護師長
高橋 明美	大曲厚生医療センター 看護師長	三浦 瑞枝	社会医療法人青嵐会 本荘第一病院 看護師長

理事会 だより

第5回 理事会

日 時 ■平成28年9月14日(水) 午前9時30分～午後0時50分
場 所 ■秋田県看護協会 第一研修室／出席者 ■理事19名、監事3名／欠席者 ■なし

1. 議 事

- | | |
|-----------------------------|----|
| 1) 平成29年度秋田県看護協会重点事項(案)について | 承認 |
| 2) 平成29年度予算編成方針(案)について | 承認 |
| 3) 平成29年度教育企画(案)について | 承認 |
| 4) 平成28年度教育計画の変更について | 承認 |
| 5) 平成28年度補正(修正)収支予算(案)について | 承認 |
| 6) 固定資産の改良について | 承認 |

2. 協議事項

- 1) 平成28年度秋田県看護行政懇談会への提示事項について
- 2) 教育会議について
- 3) 研修応援ポイントカードの実施について

3. 報告事項

- | | |
|-------------------|---|
| 1) 日本看護協会理事会報告 | 5) 平成28年度環境・保健事業功労知事表彰候補者について |
| 2) 事業報告 | 6) 北海道・東北地区看護協会長連絡協議会について |
| (1) 業務執行状況報告 | 7) 地区別法人会・職能委員長会について |
| (2) 地区支部事業報告 | 8) 秋田県におけるアウトリーチ(訪問)型看護管理能力支援モデルの検証に関する研究への協力について |
| (3) 庶務報告 | 9) ナースシップシステムの全体スケジュール |
| 3) 会計報告 | 10) 平成28年度会員数について |
| 4) 日本看護協会への要望について | |

第6回 理事会

日 時 ■平成28年11月16日(水) 午後1時30分～午後4時57分
場 所 ■秋田県看護協会 第一研修室／出席者 ■理事19名、監事3名／欠席者 ■なし

1. 議 事

- | | |
|------------------------------------|----|
| 1) 平成29年度秋田県看護協会重点事項(案)について | 承認 |
| 2) 平成29年度秋田県看護協会事業計画(案)について | 承認 |
| 3) 平成28年度補正(修正)収支予算(案)について | 承認 |
| 4) 平成29年度日本看護協会改選役員・推薦委員候補者の推薦について | 承認 |
| 5) 平成29年度日本看護協会会長表彰候補者の推薦について | 承認 |

2. 協議事項

- 1) 日本看護協会への要望について
- 2) 平成29年度秋田県看護協会改選対象役員について

3. 報告事項

- | | |
|--------------------------|-------------------------------------|
| 1) 日本看護協会理事会報告 | 4) 会計報告 |
| 2) 日本看護協会地区別法人会・職能委員長会報告 | 5) 秋田県看護行政懇談会報告 |
| 3) 事業報告 | 6) 平成28年度看護職員認知症対応力向上研修事業について |
| (1) 業務執行状況報告 | 7) 中間監査の報告 |
| (2) 地区支部事業報告 | 8) 平成28年度会員入会状況と平成27年度入会金未納者の状況について |
| (3) 庶務報告 | |

※概要を知りたい方は、当協会ホームページ(<http://www.akita-kango.or.jp/>)をご覧ください。ホームページにアクセスできない方は、当協会にご連絡ください。

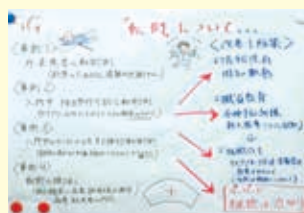
安全情報
No.13

医療・看護安全委員会

リスクマネージャー交流会



グループワークの様子



グループワーク資料



実践発表

平成28年10月22日(土)
リスクマネージャー交流会を
開催しました。

医療安全管理者・リスクマネージャー・医療安全に係わる27名の方々に
参加いただきました。

今年度は転倒・転落、誤薬をテーマに5施設からの実践報告とグループワークで活発な
意見交換が行われました。

実践報告ありがとうございました。

JCOH秋田病院
白根病院
大曲厚生医療センター

芳賀佳久子 さま
小畑 由紀 さま
高橋美紀子 さま

協和病院
介護老人施設なぎさ

藤澤 広子 さま
八百屋香子 さま



注意



カリウム製剤の投与方法の間違いが
日本医療機能評価機構のヒヤリ・ハット事例で報告されています。

カリウム製剤の急速静注は禁止です!!

平成
29年度

改選役員 及び 推薦委員

平成
30年度

日本看護協会代議員 及び 予備代議員

立候補 並びに 推薦 について

選挙管理委員会 からのお知らせ

平成29年6月28日（水）に開催される通常総会において、改選役員、推薦委員及び代議員等の選挙を実施いたしますので、立候補並びに受付期間などについてお知らせいたします（立候補には正会員5人以上の推薦が必要です）。

I 改選役員数と役職名等

1. 役員

理事 9名（任期2年）

副会長、保健師職能、助産師職能、教育、鹿角、大館、北秋田、能代・山本、秋田臨海

2. 推薦委員 3名（任期2年）

3. 代議員 7名（任期1年）

4. 予備代議員 7名（任期1年）

II 立候補受付期間

平成29年1月13日（金）

～平成29年2月28日（火）（必着）

III 立候補届出用紙

本会ホームページからダウンロードしてご使用ください。

IV 立候補届出先

〒010-0874 秋田市千秋久保田町6-6
公益社団法人 秋田県看護協会内
選挙管理委員会あて

推薦委員会 からのお知らせ

平成29年度改選役員、推薦委員及び平成30年度代議員等の候補者について、会員各位におかれましては、次の項目に該当する方を公募いたします。

1. 推薦基準

- (1) 秋田県看護協会の目的に沿って、組織の強化・発展の取り組みを実践できる人。
- (2) 秋田県看護協会事業に熱意を持って、共同できる人。
- (3) 本会の実情に合わせて、定例会に参加できる人。

2. 推薦方法

推薦用紙に記入し、郵送をお願いします。
（本会ホームページからダウンロードしてご使用ください。）

3. 受付期間

平成29年1月13日（金）

～平成29年2月10日（金）（必着）

4. 改選役員数と役職名等

1. 役員

理事 9名（任期2年）

副会長、保健師職能、助産師職能、教育、鹿角、大館、北秋田、能代・山本、秋田臨海

2. 推薦委員 3名（任期2年）

3. 代議員 7名（任期1年）

4. 予備代議員 7名（任期1年）

5. 推薦書届出先

〒010-0874 秋田市千秋久保田町6-6
公益社団法人 秋田県看護協会内
推薦委員会あて

事務局からのお知らせ

New!!

研修応援ポイントカード

新たな会員特典が平成29年4月1日からスタート!!

会員一人ひとりの能力開発、維持・向上とキャリア形成を支援するため、会員特典事業として、研修応援ポイント事業を実施します。

■ 研修応援ポイントとは

- 研修会の受付時に、「研修応援ポイントカード」に研修の種類に応じた数のスタンプを押印します（会員限定）。

■ ポイントがつく研修

- ・ 一般教育研修会
- ・ 認定看護管理者教育課程（ファーストレベル等）
- ・ 長期研修公開講座

■ ポイント数

- ・ 半日研修（5時間未満） …… 1ポイント
- ・ 1日研修（5時間以上） …… 2ポイント
- ・ 2日以上研修 …… 4ポイント
- ・ 10日以上研修 …… 10ポイント
例：ファーストレベル教育課程
- ・ 30日以上研修 …… 20ポイント
例：セカンドレベル教育課程



● ポイントの交換で受講料が無料

- ◆ 10ポイントで一般教育研修会の半日研修が無料で受講できます。
- ◆ 20ポイント（半日研修で使用したポイントを含めて）で一般教育研修会、公開講座の1日研修が無料で受講できます。

● 留意点

- ◆ ポイントカードを紛失したときは再交付しますが、不明となったポイントは無効となります。
- ◆ ポイントは、他の会員との共有、合算、他の会員への譲渡はできません。
- ◆ ポイントカードは無期限でご利用できます。

● 事業の開始 平成29年4月1日

とどけるん広報

とどけるん マークを表示

【看護師等届出制度について】

平成27年10月から、看護師等の人材確保の促進に関する法律の改正により、離職時等や看護職の資格（保健師・助産師・看護師・准看護師）を有しながらその仕事に従事していない場合はナースセンターへ届け出ることが努力義務となりました。

届出は看護師の届出サイト「とどけるん」から、またはナースセンターへ来所しての届出もできます。



とどけるん

検索



詳細は届出専用サイト「とどけるん」又は秋田県ナースセンター窓口へ!

事務局からの連絡・報告

看護職員のWLB推進フォローアップワークショップ

日時：平成29年2月7日(火) 13:00-16:00

場所：秋田県看護協会第一研修室
総合保健センター5階

I 講演：「働きやすい職場環境の構築で安全・安心な医療をめざして」
講師：飯畑裕子氏 社会医療法人社団慈生会 等潤病院 看護部長

II ワークショップ事業取り組み施設からの発表

秋田県立脳血管研究センター

秋田県立リハビリテーション・精神医療センター

III 意見交換



平成28年度看護職員認知症対応力向上研修(秋田県委託事業)

1. 対象：秋田県内の医療機関・介護老人保健施設等に勤務する指導的役割の看護職員

2. 月 日：平成29年2月14日(火)～16日(木) 3日間

3. 場 所：秋田県総合保健センター 2階大会議室

4. 受講料：無料

※詳しいことは秋田県看護協会ホームページで確認ください。

HPアドレス：<http://www.akita-kango.or.jp/>

看護師学校養成所(2年課程)
通信制に通う方へ

日本看護協会奨学生募集

無利子

応募受付期間：毎年4月頃

応募条件：①日本看護協会の会員であること

②看護学校養成所に在籍していること

貸与内容：①年額36万円または48万円1年間又は2年間

②在学中に限る※7月に年額を一括振込

貸与内容：①返還開始：貸与終了年の翌年10月

②返還期間：最長4年以内

詳細は、日本看護協会公式ホームページ 問い合わせ先：03-5778-8543



第8回 秋田ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム 参加者募集

目的：患者・家族に必要なエンド・オブ・ライフ・ケアを包括的に学習し、ケアの質向上を図る

日時：平成29年6月3・4日(土・日) 9:00～17:50(予定)

場所：秋田大学大学院医学系研究棟講義室

応募方法：秋田県緩和ケア研究会ホームページをご参照ください <http://akita-kanwacare.com/>

お問い合わせ先：itotomo@hs.akita-u.ac.jp または 018-884-6519

(秋田大学 臨床看護学講座 伊藤) へご連絡願います

応募期間：4月3日(月)～4月21(金)

後援：公益社団法人秋田県看護協会、秋田県緩和ケア研究会 ほか

今回掲載された文章や写真、個人名・団体名については個人情報保護法の下、他の目的には一切使用いたしません。

編集後記

明けましておめでとうございます。今シーズンはインフルエンザの流行が早くきましたね。皆様、体調には十分気をつけてお過ごしでしょうか。

さて、広報委員会では来年度以降の新企画を考えております。紹介してほしいこと・取り上げてほしいことなど、皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

(記：齋藤 麻結美)

看護あきた Vol.126 平成28年度 3号

Nursing Akita



発行日/平成29年1月20日

発行責任者/公益社団法人 秋田県看護協会 会長

発行所/公益社団法人 秋田県看護協会 秋田市千秋久保田町6-6 Tel 018-834-0172

印刷所/秋田中央印刷(株) 秋田市新屋豊町6-43 Tel 018-823-7577